令和５年２月２１日

保護者様

練馬区立上石神井北小学校

校長　本橋　教子

学校アンケートの集計結果のお知らせ

向春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

　さて、昨年末に行った学校アンケートの集計がまとまりましたのでお知らせいたします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| よく考えて学習する子供 | 【授業改善の取り組み】  学校は、主体的・対話的で深い学びの授業づくりに取り組み、思考力・判断力・表現力等を育てていますか。 | 評価 | A |
| 【家庭学習の定着】  学校からの家庭学習の提案は、家庭で生かしやすいですか？ | 評価 | B |
| 仲よく助け合う子供 | 【道徳教育の充実】  学校は、児童の道徳性を育んでいますか？ | 評価 | A |
| 【人権教育】  学校は、一人一人を大切にした人権に配慮した指導を行っていると感じますか？ | 評価 | A |
| 【生活指導】  学校は、いじめや不登校等の未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか？ | 評価 | B |
| すすんではたらく子供 | 【学級や学校の問題解決】  学校は、よりよい学級・学校づくりのために、児童に考えさせたり取り組ませたりしていますか？ | 評価 | A |
| 【異学年交流】  学校は、異学年交流を通して、人の役に立ったり人と関わったりする喜びを感じる指導を行っていますか？ | 評価 | A |
| 最後までやりぬく子供 | 【健康・体力の向上】  学校は、児童の体力づくりに向けて工夫した取り組みを行っていますか？ | 評価 | B |
| 【児童の様子】  児童は、学校生活に楽しみを感じながら、学習等にすすんで取り組んでいますか？ | 評価 | A |
| 開かれた学校 | 【教育相談】  児童や保護者は、困った時など、先生方やスクールカウンセラー等にいつでも相談できますか？ | 評価 | A |
| 【広報活動】  学校ホームページ・学校・学年だよりは、学校経営方針や教育活動を分かりやすく伝えていますか？ | 評価 | A |
| 【意見の反映】  学校は、寄せられた意見等を学校運営や教育活動に生かしていると感じますか？ | 評価 | A |

　A：80％以上の方が肯定的な評価、B：60～80％の方が肯定的な評価、C：肯定的な評価が60％未満のもの

（裏面へ）

お忙しい中、多数の保護者の皆様にご回答いただき、誠にありがとうございました。

今年度の学校評価アンケートは、昨年度と同じ設問でアンケートを行いました。集計においては「５　評価に迷う、分からない」については肯定否定どちらにもカウントしない形式で集計を行いました。どの項目におきましても、概ね肯定的な評価をいただいているという結果となりました。教育活動へのご理解をいただき、ありがとうございました。今回の結果から今年度の教育活動について以下のように考えましたので、お伝えいたします。

成果（Aの中で特に評価の高かったもの）

○【異学年交流】（学校は、異学年交流を通して、人の役に立ったり人と関わったりする喜びを感じる指導を行っていますか？）

○【児童の様子】（児童は学校生活に楽しみを感じながら、学習等にすすんで取り組んでいますか？）

○上北小ではたてわり班活動を月に１回行ったり、１学期は６年生が１年生のお世話をしたりしています。たてわり班活動の日に向けて休み時間を割いて班長である６年生が計画や準備をします。たて割り班活動の日は休み時間がいつもより長く、１～６年生で楽しく活動しています。

○多くの児童が学校生活を楽しみにして生活していることは、学校として何より嬉しいことです。

　今年度の４月の保護者会でお伝えした通り「誰一人おいていかない学校・学級」であるよう教

職員一丸となって指導にあたってまいりました。来年度も引き続き、ご家庭との連携を深め、指導してまいります。

課題（Bとなったもの）

●【家庭学習の定着】（学校からの家庭学習の提案は、家庭で生かしやすいですか？）

●【生活指導】（学校は、いじめや不登校等の未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか？）

●【健康・体力の向上】（学校は、児童の体力づくりに向けて工夫した取り組みを行っていますか？）

●タブレットを用いた学習や宿題も今年度積極的に取り組んでまいりました。宿題の形式も、従来のドリルだけではなくなりました。視覚的により理解しやすかったりすぐに正誤がわかったりするのでタブレットを用いた宿題も増えています。また自ら課題を設定し調べたりまとめたりする宿題もあり児童の主体的に学ぶ力を高めようとする宿題も出しています。

しかしアンケート結果からみると、まだ家庭学習の定着には至っていないことが分かりました。来年度は、家庭学習の習慣がより身につくよう、個人面談や保護者会、学年だより等を通じて状況をお伝えし、家庭との連携を深めていきたいと思います。

●学校では、いじめの未然防止として、道徳科の授業で人権に配慮した授業や、全校児童による「いじめ防止標語づくり」「いいねの風船を空に飛ばそう（友達の良いところ見つけ）」を行っています。いじめの早期発見に向けて、全学級で学期に１回の「いじめアンケート」や、学期毎に１週間ずつスクールカウンセラーや心のふれあい相談員による子供相談週間、第３、５学年ではスクールカウンセラーや心のふれあい相談員による全員面談をしています。いじめ等の問題行動を把握した場合は、組織（管理職、担任、学年主任、養護教諭等）で対応し、全教職員で情報を共有しております。個人面談も年に１回または２回行っています。気になることがありましたら、小さなことでもご連絡いただき、すぐに対応してまいりたいと思います。

●児童の体力作りについてはBではありましたが、昨年度より肯定的評価は増えました。

　新校舎建築のため校庭の面積や使用期間の縮小があるため、体力作りは容易なことではありません。しかし今年度は「コオーディネーショントレーニング」を取り入れ、狭い校庭でも運動量を増やしたり体幹を鍛える動きを行ったりすることで、児童の体力作りを意識して教育活動を行ってまいりました。来年度は新校舎移転に伴い、さらに校庭が狭くなります。そのような状況の中でも、今年度研修し実施してきた「コオーディネーショントレーニング」等を継続して実施して、体力維持に努めていきたいと思います。

最後に、今年度のアンケート結果は、どの項目でも「５　評価に迷う、分からない」を評価する人数が減りました。２年連続で実施することで、評価項目が保護者の方に浸透してきた表れかと考えます。

一方で、総回答人数は昨年度より減りました。これは実施日が昨年度より遅かったため、年末の忙しさが影響したのではないかと考えています。来年度は実施日を早め、回答期間を長くし、学年だよりや学校だより、学校連絡メールでも学校評価アンケートについて周知し、より多くの保護者の方にお答えいただけるようにしていこうと考えております。

今回の学校評価の結果を来年度の教育計画作成に反映させ、本校の教育活動の充実を図っていきたいと考えております。

今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。